

神出シニアコミュニティ

令和1年度事業報告

●施設本部

今期のテーマ 実践と継続

- 今期計画
1. 人材育成の体制強化
 2. 労務管理・職場環境の改善
 3. 管理体制の強化
 4. 地域貢献の充実

1. 人材育成の体制強化

※新人職員研修に「プリセプター制度」を導入し11月から実施。

良かった点⇒プリセプターの存在により新人職員が安心して業務を覚える事が出来、不明点を聞きやすい。定期的に面談を実施し、進捗状況を把握し指導の調整が出来る。

問題点 ⇒プリセプター自身の異動や退職。また、プリセプター不在時の指導について周知が出来ていない。(統一された指示でないため、逆に混乱を招く)

人員配置が充分でない為、付きっきりの指導が行えない。

今後の課題として、新人職員育成には全職員の協力が必須であり、普段から、フロアごとの取り決めや、業務内容についてマニュアル作成し、フロア職員が統一した知識・技術を習得することが大事である。「教えない＝人員が足りない」にならないようにする。

※副主任、リーダー職、一般職の異動を実施。違う目線を取り入れることでフロア内の改善が図れ、技術・知識の向上に繋がっている。

2. 労務管理・職場環境の改善

※有給休暇5日取得義務に関して、管理を徹底し達成することが出来たが、課題は、取得数の大幅な差が生じた事である。平等に取得できる体制を作ることが重要である。

※外部研修に参加した内容のアウトプットが万全でなかった。復命書を作成し、回覧・発表することでスキルアップが図れるため、提出を促していく。

3. 管理体制の強化

※各種委員会の委員長が中心となり、会議を開催。情報を共有し、施設の現状を知ることが出来、統一意識を持つことが出来た。

※マニュアルの整備が行えていない。今後は、マニュアルを使った研修を行い、現状にあったマニュアルを作成していく。

4. 地域貢献の充実

※神出シニアカフェ（認知症カフェ）を開催。地域住民、入所者家族等が参加し、意見交換、親睦を図った。一部の職員はボランティアとして参加。今後は、「開催目的」を明確にし、周知する事で職員の参加を促していく。

※地域住民が参加できる行事が少なく、また、地域行事への参加が出来ていない。地域に根づく施設にすべく、今後は交流の機会を増やしていく。

令和1年度外部研修参加者一覧

日程	研修名	参加者	場所
4月19日	現場でつかえる対応マナー	和田 未来	こうべ市民福祉交流センター
4月23日	通所介護事業者向け研修「ケアマネジャー様に選ばれるデイサービス運営」	赤木 陽介 川上かおり	兵庫県中央労働センター
4月26日	事務職員講座（初級）	西畑 健人	こうべ市民福祉交流センター
5月9日	明日から使える「音楽レク」	近藤 麻希	生田神社会館
5月24日 6月7日 6月21日	面談相談スキルアップ	大西沙也香	市民福祉大学
6月13日	相談員会	東谷 友和	神戸市立総合福祉センター
6月27日	特養入所・ショート担当責任者会議	東谷 友和 林 大輔	たちばな職員研修センター
7月19日 9月12日 1月16日	神戸市若年性認知症デイサービス職員研修	西本 啓子	たちばな職員研修センター
8月5日	神戸市特定給食施設研修	横山 晶子	兵庫県民会館
8月21日	皆が成長ある職場を目指して	河口 幸美 東谷 友和	こうべ市民福祉交流センター
8月23日	栄養士会研修会	横山 晶子	神戸ポートピアホテル
8月24日 10月8日 10月30日 12月7日 12月24日	利用者と介護者の体を守る介護技術研修	大嶋 俊陽 藤澤 隆平 古見啓一郎 岩佐 久恵 和田 未来 坂口 勇 横田 一子	総合リハビリテーションセンター
9月4日	神戸市認定調査員現任者研修	井口富美江	神戸市勤労会館
9月18日	高齢者施設職員向け研修	東谷 友和 黒木 俊雄 大西沙也香 横山 晶子 井口富美江	神戸市役所
10月5日	西区健康・福祉フェア	横山 晶子	西神中央プレンティ広場
10月10日 10月11日	主任介護支援専門員スキルアップ研修	中嶋健一郎 西山理恵子 堀 和代	神戸医師会館
10月18日 2月14日	SOS をキャッチして視点を変える。視点が変われば生活が変わる	井口富美江	神戸市立総合福祉センター 総合リハビリテーションセンター

令和1年度外部研修参加者一覧

日程	研修名	参加者	場所
10月18日	スキルアップセミナー	中嶋健一郎	三宮研修センター
10月25日	法令遵守・職業倫理などに関する職員研修	中森圭那絵	こうべ市民福祉交流センター
11月1日	地域医療機関との協働した退院支援を目指して	田部 由衣 坂口 勇 横山 晶子	明石市民病院
11月15日	安全衛生推進者ならびに衛生推進者養成講習	東谷 友和	神戸西労働基準協会
11月22日	感染症対策実務者研修会	黒木 俊雄	西区役所
12月13日	相談員会	東谷 友和 大西沙也香	チサンホテル神戸
12月13日	西区主任ケアマネジャー連絡会	堀 和代 吉田 敦子 西山理恵子	神戸市立西公民館
12月19日 1月16日 2月13日	介護現場で知っておきたい医学知識研修会	飯原 昌子 谷 千尋 小西 陽子 吉田 琴音 藤田 裕介 久富木祐子	たちばな職員研修センター
1月7日 1月14日 1月21日 1月28日 2月4日 2月18日 2月25日 3月3日 3月10日	喀痰吸引研修	古見啓一郎 谷岡 愛子 横田 一子 山田 麻衣	萬寿園
1月17日	介護士会	黒木 俊雄 藤田 裕介	サンビラこうべ
2月4日	持ち上げない！介護技術	小島 結衣	こうべ市民福祉交流センター
2月15日	認知症カフェ連絡研修会	古土井春子	加西市地域交流センター
2月15日	ケアマネ研修 権利と倫理編	吉田 敦子	たちばな職員研修センター
2月15日	医療事業部嚥下調整食	横山 晶子	大阪府社会福祉会館
3月20日	医療的ケア教員講習会	家田真理子	兵庫県中央労働センター

延べ人員 98名

● 特別養護老人ホーム

< 特養生活相談員 >

今期のテーマ 利用者・家族とのコミュニケーションを大事にし、意向や思いを話しやすい関係性をつくる

- 今期計画
1. 実質稼働率95%の達成
 2. 入所検討委員会の充実
 3. 利用者・家族が相談や意向を話しやすい関係性の構築

1. 実質稼働率95%の達成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	100名	100名	99名	99名	99名	98名	95名	98名	100名	99名	99名	100名
稼働率%	96.70	96.35	96.57	95.81	95.39	89.73	85.68	87.83	94.58	96.42	96.66	97.39
退所者数	2名	1名	1名	1名	1名	2名	3名	2名	5名	2名	3名	1名
新入所者数	2名	0名	1名	1名	1名	1名	0名	5名	7名	1名	3名	2名

年間稼働率が94.09%と稼働率目標の95%には至らなかった。

8月末から風邪症状等体調を崩し入院者が増加、治療期間が長期化した事もあり、9月から11月にかけて稼働率が80%台と低迷した事が大きく影響した。

しかし、入所希望者にショート利用を勧める事で、状態の把握が出来、退所者が発生後早期に入所に切り替える事が出来た。

2. 入所検討委員会

定例会議 ⇒ 12回開催

適宜会議 ⇒ 12回

(5/3・5/23・6/16・7/15・7/22・8/28・10/28・11/25・12/9・1/20・2/24・3/30)

今期は入院先での死亡、長期入院による退所件数が昨年度の2倍近くあり、退院の見込みや入院中の状態を把握し、次期対象者の受け入れ準備をすすめる。

3. 利用者や家族が相談や意向を話しやすい関係性の構築

今期は四季折々の施設内行事に加え、体力的にも普段外出が難しい方を主に、近隣の喫茶店の協力もあり気候の良い時期に3回外出行事を行う事ができた。また長時間外出が可能な方には神戸どうぶつ王国への遠足を実施し、楽しんで頂けご利用者と職員との普段とは違う交流が行えた。

ご家族とは面会や施設行事、家族会などで密にコミュニケーションを取り関係性の構築に努めた。

特養 入退所の状況

令和1年度

月	新規入所者							退所者						入院者(人)
	在宅	その他				病院	計(人)	家庭 復帰	医療 機関 入院	他施設 への 転出	死 亡	そ の 他	計(人)	
		他の 福祉 施設	特 養	グ ル ー プ ホ ー ム	老 健									
4	2						2	1			1		2	5
5							0				1		1	3
6			1				1		1				1	3
7	1						1				1		1	5
8	1						1				1		1	4
9	1						1				2		2	12
10							0		1		2		3	11
11	4					1	5		1		1		2	7
12	5				2		7		4		1		5	4
1	1						1				2		2	2
2	3						3		1		2		3	1
3	2						2				1		1	4
合計	20	0	1	0	2	1	24	1	8	0	15	0	24	61

毎月末時人数

特養 年齢・在所期間一覽

年齢別性別状況（特養）（契約者数 100名）

（令和2年3月31日現在）

	64 才 以下	65 才	70 才	75 才	80 才	85 才	90 才	95 才	100 才 以上	合 計	平 均	最 高	最 低
男	1	1	3	1	5	3	4	2	0	20	82.5	95	56
女	0	1	3	4	12	24	23	9	4	80	88.2	105	66
計	1人	2人	6人	5人	17人	27人	27人	11人	4人	100人	87.1	105	56

在所期間状況（契約者数 100名）

（令和2年3月31日現在）

	1 年 未 満	2 年 未 満	3 年 未 満	4 年 未 満	5 年 未 満	6 年 未 満	7 年 未 満	8 年 未 満	9 年 未 満	10 年 未 満	10 年 以 上	合 計
男	4	3	1	5	0	1	2	2	2	0	0	20
女	16	14	10	8	12	5	3	2	2	3	5	80
計	20人	17人	11人	13人	12人	6人	5人	4人	4人	3人	5人	100人

特養 栄養・看取り・看護加算

令和1年度

月	栄養マネジメント 加算 日	口腔衛生 管理体制 加算 人	口腔衛生 管理加算 人	療養食 加算		経口移行 加算		経口 維持 加算 I 人	再入所時 栄養連携 加算 回	看取り介護加算					看護体制 加算 I・II 日
				人	日	人	日			人	(1) 日	(2) 日	(3) 日	計 日	
4	2,901	101	7	5	405			12							2,901
5	2,987	99	8	4	372			12		1	3	2	1	6	2,987
6	2,897	98	8	5	415	1	26	11	1						2,897
7	2,970	98	7	5	388	1	31	10							2,970
8	2,957	97	8	4	372	1	31	10							2,957
9	2,692	97	7	4	316	1	22	9							2,692
10	2,656	90	7	3	279	1	31	8							2,656
11	2,635	93	7	4	302	1	30	8		1	13	2	1	16	2,635
12	2,907	99	7	4	372	1	31	8							2,907
1	2,967	100	8	4	333	1	31	8		1	27	2	1	30	2,967
2	2,800	99	8	3	261	1	29	6							2,800
3	3,019	101	8	3	279	1	31	5							3,019
計	34,388	1,172	90	48	4,094	10	293	107	1	3	43	6	3	52	34,388

特養 行事・クラブ活動・ボランティア実績

令和1年度

《行事》

日	時	行 事	参加人数			内 容
			特養	S. S.	家族	
4	7	お花見	全員	全員	103	4月7日にお花見会を開催し、たくさんのご家族に参加頂き、今年度は天気・開花状況も良く、満開の桜を楽しんで頂けた。食事もお花見弁当だけではなく、串カツやフライ物、綿菓子や喫茶も行い、ご利用者やご家族から好評の声を多数頂いた。
5	1	創立記念日	-	-	-	永年勤続の職員を表彰。
6	29	喫茶外出 (珈琲庵【珈集】)	10	-	-	6月29日に珈集に喫茶外出。 10名のご利用者をお連れし普段とは違う雰囲気の中で、好きな物を注文し飲食を楽しんで頂きました。珈琲や紅茶と共に美味しいパフェやケーキ、和菓子を堪能された。
7	7	七夕会	全員	全員	-	各フロアに笹を用意し、ご利用者・ご家族・職員の願い事を短冊に書き、ご利用者と共に飾り付けを行った。 昼食には鮭のちらし寿司や鰻の湯引き等、七夕らしい食事を味わって頂いた。午後からは職員が織姫や彦星に仮装し、七夕の紙芝居やご利用者と一緒に七夕の歌を唄い楽しんで頂いた。
7	31	喫茶外出 (珈琲庵【珈集】)	7	-	-	普段外出が厳しく、長時間起きて過ごす事が難しい方を対象に7名のご利用者をお連れし、普段とは違う表情も見られ、楽しい時間を過ごされた。
8	18	盆踊り	全員	全員	80	8月18日午後より2部制で盆踊り大会を開催。踊りのボランティアの方々にもお越し頂き、大きな混雑もなくご利用者、ご家族、職員が輪に入り盆踊りを楽しんで頂いた。また綿菓子やパンダ焼きの屋台も出し、美味しいと好評いただいた。

日 時 行 事			参加人数			内 容
			特養	S. S.	家族	
9	12	敬老会	-	-	-	9月12日に敬老会で祝い膳や、職員・ボランティアの出し物、慶寿のお祝いを予定していたが、感染症の流行により感染拡大防止の為中止となった。
10	19	秋祭り	全員	全員	-	10月19日にご家族や演芸ボランティアを招き、令和となり初めての秋祭りとなり、昭和と平成の料理食べ比べをコンセプトに屋台等を予定していたが、感染症の終息には至っていなかった為、80名程参加予定であったご家族やボランティアの来園は中止し、ご利用者の皆様には秋の味覚弁当やデザートオードブルを食して頂き、秋の味覚を楽しんでいただいた。
10	30	遠足 (神戸どうぶつ王国)	8	-	-	10月30日に8名のご利用者と一緒に神戸どうぶつ王国に遠足に出かける。普段目にする事の少ない動物や植物に喜ばれ、現地で注文した弁当を堪能され、午後からは大迫力のバードショーを見て大変満足された。10:30~16:00と長時間の外出となり、帰りの車内では皆様疲れたのかウトウト休まれていたが、体調不良や事故なく楽しまれた。
11	22	神出文化祭	複数人	-	-	11月21日・22日に地域イベントの神出文化祭に、ご利用者の作品、書道・置物・ちぎり絵・塗り絵等多数出展。 特養からは11月22日に出展者等中心に複数人お連れし、自身や他の方の作品を見て楽しまれ、来年の参考にも繋がった。見学後は会場で抹茶と和菓子を食べられた。
12	24	クリスマス会	全員	全員	-	各フロアにクリスマスツリーを置き、ご利用者と一緒に飾り付けを行う。12月24日にクリスマス会を開催し、昼食にはサンドイッチや鳥の丸焼きを取り分けてお出しする等、クリスマスらしい食事を味わっていただき午後には職員によるレクリエーションとしてサンタやトナカイに仮装し、ご利用者と共にクリスマスソングと共に鈴や

日 時		行 事	参加人数			内 容
			特養	S. S.	家族	
						タンバリンを鳴らして楽しんでいただいた。一人一人に手作りのミニリースをプレゼントし喜ばれる。おやつには手作りのクリスマスケーキに皆様喜ばれた。
1	1	新年祝賀会	全員	全員	-	昼食にはおせち料理をお出しし、新年のお祝いをする。豪華なおせち料理に皆様喜んで食べられた。午後からは職員が獅子舞となり、ご利用者一人一人に一年の健康祈願をする。
1	8	新年 職員演芸会	-	-	-	1月8日に新春演芸会として紅白対抗歌合戦を予定していたが、風邪等体調不良者もおられ、風邪やインフルエンザ感染予防の為中止となった。
1	10	初詣	7	4	-	1月10日に11名のご利用者と共に神出神社に参拝。参拝展望台でしばらく眺望し記念撮影を行う。
2	3	節分	全員	全員	-	2月3日に開催。昼食には巻き寿司やいなり寿司をお出しし、皆様たくさん召し上がられた。午後からは年男・年女のご利用者を紹介。職員が鬼に仮装し、フロア毎に豆まきを行った。豆の替りにボールを鬼に投げられ、鬼退治を皆様楽しまれた。
3	3	雛祭りお茶会	全員	全員	-	3月3日の桃の節句に各フロアに雛人形を飾り、インフルエンザ等感染予防の為3月3日と4日に分けてお茶会を開催。ご利用者も希望の方には自身でお茶をたていただき、和菓子と一緒に召し上がられた。皆様美味しそうに過ごされていた。

《クラブ活動》

クラブ活動名	参加人数		内容
	特養	SS	
踊り教室 (講師 村井 敏子様他)	多数	多数	6月・7月にお越しいただき、8月の盆踊りに向けて多数の利用者が参加され、職員も一緒に練習し楽しまれた。
生花クラブ (講師 中嶋 嘉代子様)	希望者	-	毎月第4木曜日に行い、自身で生けられた生花を自室で大切に手入れされるご利用者もおられ、皆様楽しみにされていた。
音楽セラピー レインボー (講師 吉田 公美子様)	希望者	-	毎月第3金曜日に行い、皆様鳴子やタンバリン・太鼓等を手に、歌や音楽に合わせてリズムをとられ、楽しい時間を過ごされた。
化粧クラブ ノエビア (講師 中井 優子様)	希望者	-	毎月第4水曜日に行い、誕生日月の方を主に化粧や顔剃り等して頂き、普段あまり化粧をする機会がない事もあり、皆様喜ばれていた。
茶道クラブ (講師 三宅 和子様)	希望者	-	毎月第2土曜日に行い、お抹茶をたてていただき、美味しい和菓子と一緒に召し上がられ毎月楽しみに参加されていた。
書道クラブ (講師 花房様)	希望者	-	毎月第1水曜日に行い、年度途中よりお越し頂いていた先生が来園難しくなり、以降は職員が中心となり、お手本を参考に継続し、11月の神出文化祭にも出展した。

《ボランティア》

ボランティア団体名	参加人数		内容
	特養	SS	
GGクラブ (ギターアンサンブル)	多数	多数	5月と9月にお越しいただき、ギター演奏や歌遊び等をしていただき、皆様生の演奏や一緒に歌を唄う等楽しい時間を過ごされた。
スモックス (女性コーラスグループ)	多数	多数	12月にお越しいただき、秋・冬にちなんだ歌や童謡、昔懐かしい歌等素晴らしい歌声に皆様大変満足され、一緒に歌を唄う等季節を感じておられた。
シオン合唱団	多数	多数	12月にお越しいただき、生のピアノ演奏でクリスマスソングや讃美歌等迫力のある歌声に聞き入られていた。
P.smile (ピアノ演奏)	多数	多数	6月にピアノ教室の子供達が多数来られ、上手に演奏されたりご利用者と触れ合う時間もあり、かわいい子供たちとの触れ合いに皆様大変喜ばれ、普段以上の笑顔が見られた。
JAZZサックス演奏会	多数	多数	以前ご入所頂いていたご利用者のお孫様にお越しいただき、迫力のある演奏に皆様聞き入られていた。

< 特養介護職員 >

今期のテーマ 『自律』と『自立』

※『自立』＝ゴール(目標)があり、それに向かって自分達で工夫しながら取り組む

※『自律』＝問題点や新しい事を自分達で見出し、自分達で目標を作り工夫しながら取り組む

今期計画 職員全員が自律して、利用者、職員、留学生が安心して

仕事ができるようになる

1. 職員が楽しく仕事できる環境作り

1年かけて「ケア根拠集」(副主任、リーダー)を作成。来期は、皆に周知、実践できるようにフロア会議等で落とし込んでいく。

2. 記録方法の平準化

利用者に痛みの訴えがあった場合、時系列に様子の記録ができるようになった。

P→D→C→Aの記録が、ほとんどなかった。今後はフロア会議等で伝えていき、日常の確認を行っていく。

3. 業務の見直し

大きな業務変更はなかったが、日頃の業務分担は、職員が交代制で作成するようにした。そうすることで、他フロアの現状の理解、協力姿勢が生まれた。

ダイルールの活用が増え、利用者がゆったりと生活できるようになった。それによりフロアの圧迫感が緩和できた。

4. レクリエーション活動の充実

行事、クラブ活動は担当職員が責任をもって計画、準備、実施できるようになった。日常のレクリエーションの実施率が低い。レクリエーションの必要性をフロア会議等で説明しながら、実施できるようにしていく。ボランティアの活用(王子ネピア、GGクラブ等)はできた。

5. 接遇を意識した職員作り

接遇委員が中心となり、接遇マニュアルを修正し、職員全員に周知した。また、フロア会議では、職員の仕事上の姿勢等、皆で考える時間をもうけた。その結果、職員の身だしなみについては、統一感が持てるようになった。

各フロアの今期目標・計画

<本館 1 階>

ご利用者の状態の観察や、情報を共有することに意識をもてた。
 大きな事故は減ったが、体調不良者が増大してしまったことには対応の不十分さを感じた。
 ご利用者に健康に過ごしていただけるよう、引き続き予測できる力を養うとともに適切な
 対応ができるよう努めていく。

<本館 2 階>

職員間での情報共有や個人に応じたケアを工夫しながら行えたように感じる。
 今後も利用者の状態の変化に気付き、それに応じたケアが行えるよう、職員同士の意見交換、
 対応に努めていく。

<北館 1 階>

些細な状態の変化にもフロア職員間で共有でき、また他職種への報告・連絡・相談も密に行うこと
 ができた。
 ご利用者の状態に合わせて食事形態の変更や居室の変更、適宜ケアの見直しを行えた。
 今後も最期まで安心して過ごせる環境を提供していく。

<北館 2 階>

ご利用者に気持ちよく過ごしていただけるよう、職員皆で意識を持ち、介護を行っていたが、
 申し送りが充分でない時があった。
 今後も安心、安全に過ごしていただけるよう情報共有の大切さを意識していく。

特養 実習生・研修生受入れ実績

令和1年度

<その他> (福祉体験学習)

[団体名]	[実施日]	[人数]	[内容]
・いぶき明生 支援学校	10/7(月)～10/11(金)	1名	・洗濯物仕分け ・車椅子清掃等
・みらしるべ 神戸	11/5(火)～11/8(金)	1名	・洗濯物仕分け ・車椅子清掃等
・ハーベスト医療 福祉専門学校	11/25(月)～12/6(金)	3名	・介護全般体験 (利用者コミュニケーション含む)

< 介護支援専門員 >

今期のテーマ 残存能力を活かしたケアプランの展開

- 今期計画
1. 残存能力を活かす視点を持ち、アセスメント・プランニング・プラン実行・モニタリングを実施する
 2. 利用者の状態変化に即したケアプランを作成する

1. 残存能力を活かす視点を持ち、アセスメント・プランニング実行・モニタリングを実施する

本人の持つ残存能力を活かすケアプランを作成した結果、今まで移乗が全介助だった方が、一部介助で移乗できるようになる方が増えた。

また食事も全介助だった方が、一部介助にてご自分で食べられるようになる等、ADLを向上することができた。

2. 利用者の状態変化に即したケアプランを作成する

体調不良や骨折等で、入院・加療される方が多かったが、退院時、すべての退院者にケアプランを見直すことができた。また褥瘡発症時・褥瘡治癒時、口腔衛生管理加算等の加算算定時、ケアプランを見直すことができた。

特養 介護支援専門員業務実績

令和1年度

カンファレンス(サービス担当者会議)

	回数	人数	家族出席率	入所時	その他(退院等)	ターミナルケア			デス
						初回	モニタリング(人)	モニタリング(回数)	
H31. 4	7	36	53.8	2	0	1	1	1	0
R1. 5	10	32	88.9	0	4	0	0	0	0
6	10	45	60.0	1	1	0	0	0	0
7	11	37	54.5	1	1	1	1	3	1
8	12	37	93.3	1	3	0	1	5	0
9	8	41	50.0	1	0	0	1	4	0
10	12	41	50.0	0	2	0	1	5	0
11	17	41	75.0	5	5	2	3	7	0
12	14	61	70.4	7	2	0	2	8	0
R2. 1	12	54	57.7	1	4	0	2	4	1
2	8	28	80.0	3	0	0	0	0	1
3	10	38	30.8	2	2	0	0	0	0
計	131	491	66.0	24	24	4	12	37	3
月平均	10.9	40.9		2	2	0.3	1	3	0.25

変更申請更新認定申請代行数

H31.4	2	
R1.5	4	
6	7	
7	5	
8	8	
9	3	
10	3	
11	5	(変更①)
12	6	(変更①)
R2.1	0	
2	3	
3	2	
計	48	
月平均	4	

認定調査数

H31.4	2
R1.5	4
6	6
7	5
8	7
9	3
10	1
11	2
12	5
R2.1	0
2	3
3	2
計	40
月平均	3.3

< 看護職員 >

今期のテーマ 安心安全な看護を提供する

- 今期計画
1. 情報を共有し統一した看護を提供する
 2. 看護介護のスキルの向上を図る

1. 情報を共有し統一した看護を提供する

- ・処置表の書き換えは定着し処置に対しての統一は改善できた。
- ・連絡ノートの記事は主任副主任が主に行っている。各スタッフが得た情報を記入するよう意識改革や体制作りが必要と思われる。
- ・本年度嘱託医の変更に伴い業務内容が大きく変更となった。現在は病院、薬局と試行錯誤している段階であるが、統一した業務を行うためにも早急なマニュアル作成が必要と考える。

2. 看護介護のスキルの向上を図る

- ・今期研修の参加が出来なかった。一人でも多く参加できるように研修を紹介し参加を促したい。

< 管理栄養士 >

今期のテーマ おいしく、安全に最期まで食べる

- 今期計画
1. 経口維持加算の活用
 2. 栄養ケア・マネジメントの充実
 3. 給食委員会について

1. 経口維持加算の活用

- 嘱託医変更に伴い、経口維持加算新規算定者は増えていない。

2. 栄養ケア・マネジメントの充実

- 上記に記載理由で経口維持加算算定者は増えていないが、誤嚥予防の食事介助方法や様子観察などの多職種に取り組みやすいように、ケアプラン導入件数は増えた。
- 排尿トラブルで発熱者が増加している。医師より水分をしっかりと摂取するように指示があった。介護支援専門員の協力もあり、水分摂取を介護職が具体的に介助できるように提供時間及び量を決めた結果、水分摂取目標を達成する利用者がふえた。

3. 給食委員会について

- 上半期は給食会社による配膳間違い・配膳漏れなどの誤配膳が多かったが、給食委員会で1か月分をまとめて各フロアから報告があることによって、下半期は配膳間違い・配膳漏れはなくなった。
- お楽しみ食については、会議で計画書について再確認を重ねた。結果、当日は委員会メンバーが率先して介護職中心に実施できた。

月別栄養所要量

(1日当たり)
令和1年度

月	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンC (mg)
4	1516	60.7	36.0	545	9.4	100
5	1513	59.2	37.0	551	9.4	100
6	1506	59.9	37.3	563	8.8	90
7	1497	58.5	35.8	519	9.3	99
8	1510	60.3	37.1	559	9.5	91
9	1511	59.0	37.0	588	10	99
10	1513	58.7	36.8	570	9.3	91
11	1514	59.4	35.9	582	9.4	95
12	1519	58.9	37.1	572	9.7	100
1	1528	59.0	36.1	574	9.7	104
2	1544	60.4	37.7	589	9.5	102
3	1521	59.4	37.1	558	9.0	99
平均	1516	59.5	36.7	564	9.4	98
施設基準	1500	60.0	38	600	6.0	100

事業別給食数

令和1年度
(食数)

		特 養			ショートステイ	デイ サービス	職 員 等	合 計
		常食	濃厚流動食	合計				
4	朝	2,631	269	2,900	508	574	510	3,408
	昼	2,647	59	2,706	599			4,389
	夕	2,622	270	2,892	518			3,410
5	朝	2,703	277	2,980	519	593	478	3,499
	昼	2,727	62	2,789	604			4,464
	夕	2,704	279	2,983	525			3,508
6	朝	2,596	297	2,893	521	543	436	3,414
	昼	2,640	61	2,701	593			4,273
	夕	2,592	298	2,890	530			3,420
7	朝	2,662	303	2,965	541	574	469	3,506
	昼	2,720	62	2,782	612			4,437
	夕	2,658	305	2,963	546			3,509
8	朝	2,673	277	2,950	599	524	478	3,549
	昼	2,730	61	2,791	673			4,466
	夕	2,672	279	2,951	612			3,563
9	朝	2,422	261	2,683	537	472	449	3,220
	昼	2,463	60	2,523	608			4,052
	夕	2,413	261	2,674	538			3,212
10	朝	2,390	261	2,651	507	509	466	3,158
	昼	2,410	60	2,470	572			4,017
	夕	2,367	270	2,637	511			3,148
11	朝	2,422	203	2,625	484	539	450	3,109
	昼	2,410	73	2,483	566			4,038
	夕	2,373	258	2,631	490			3,121
12	朝	2,689	213	2,902	509	572	457	3,411
	昼	2,683	62	2,745	598			4,372
	夕	2,627	274	2,901	523			3,424
1	朝	2,673	193	2,866	493	569	420	3,359
	昼	2,751	62	2,813	579			4,381
	夕	2,699	257	2,956	508			3,464
2	朝	2,596	199	2,795	535	573	422	3,330
	昼	2,586	57	2,643	614			4,252
	夕	2,538	261	2,799	550			3,349
3	朝	2,842	175	3,017	547	553	515	3,564
	昼	2,840	32	2,872	644			4,584
	夕	2,778	236	3,014	551			3,565
合計	朝	31,299	2,928	34,227	6,300	6,595	5,550	40,527
	昼	31,607	711	32,318	7,262			51,725
	夕	31,043	3,248	34,291	6,402			40,693
当たり 1日	朝	86	8	94	17	21	15	111
	昼	87	2	89	20			145
	夕	85	9	94	18			111

食 品 群 別 摂 取 量

(1日あたり)

令和 1年度

食 品 群	施 設 基 準	栄 養 実 績
穀 類	190	170
芋 類	55	40
砂 糖 類	10	12
油 脂 類	8.0	7.5
大 豆 類	85	90
緑 黄 色 野 菜	120	110
そ の 他 野 菜	200	180
果 実 類	80	80
海 藻 類	6	6
魚 介 類	70	60
獣 鳥 肉 類	60	65
卵 類	30	30
乳 製 品	200	220

令和1年度行事食一覧表

	特養		デイサービス			
4月	5日(金) 17日(水)	給食委員会 誕生食	2日(火)～ 4日(水)	花見弁当		
5月	5日(日) 10(金) 16日(木)	端午の節句 給食委員会 誕生食	1日(水) 22日(水)	イタリアンコース料理 マリンポリス		
6月	7日(金) 22日(土)	給食委員会 誕生食	5日(水) 本2・北1 20日(木) 本1・北2	水まんじゅう 11日(火) お好み焼き		
7月	1日(月) 5日(金) 7日(日) 27日(土)	誕生食 給食委員会 七夕 土用の丑の日	10日(水) 本2・北1 30日(火) 本1・北2	プリンパフェ 22日(月) 羽根つき餃子 炒飯		
8月	2日(金) 6日(火) 25日(日)	給食委員会 誕生食 盆踊り		21日(水) 瓦そば		
9月	6日(金) 9日(月) 12日(木) 18日(水)	給食委員会 重陽の節句 敬老食 誕生食		2日間 敬老会 20日(金) すき焼き		
10月	4日(金) 19日(土) 24日(木)	給食委員会 秋のお食事会 誕生食		31日(木) 丸ごとかぼちゃの肉詰め		
11月	1日(金) 11日(月) 22日(金)	給食委員会 すき焼き(1階) 誕生食	13日(水) 全館 パンケーキ	19日(火) 27(金)	マリンポリス 鮭のチャンチャン焼き	
12月	6日(金) 9日(月) 24日(火)	給食委員会 誕生食 すき焼き(2階) クリスマス		19日(木) 27日(金)	ピザ もちつき	
1月	1日(水) 10日(金) 20日(月)	新年祝賀会 給食委員会 誕生会		15日(水)	うどんすき	
2月	3日(月) 7日(金) 18日(火)	節分 給食委員会 誕生食	12日(水) 本2・北1 25日(火) 本1・北2	箸まき	3日(月) 10日(月) 18日(火) 21日(金)	節分 おでん すき焼き マリンポリス
3月	3日(火) 25日(火)	ひな祭り 誕生食	3日(火) 本1・北1 4日(水) 本2・北2	お茶会	3日(火) 14日(火) 16日(月)	桃の節句 マリンポリス すき焼き

●ショートステイ

< ショートステイ生活相談員 >

今期のテーマ 利用者、家族との信頼関係を築き、リピーターを増やす

- 今期計画
1. 他の事業所との連携・情報交換を強化
 2. 年間平均稼働率 107%の達成
 3. 安心・安全で快適な環境および場所の提供
 4. 地域に根差す
 5. ケアの質の向上

1. 他の事業所との連携・情報交換を強化

利用者に変化がある場合等は電話連絡だけではなく書面も送るようにし、正確な情報伝達が出来るように努めている。デイサービスと併用して利用している方も多いため、お互いに情報共有することが出来てきたと感じる。

2. 年間平均稼働率 107%の達成

≪実績≫年間平均稼働率 99.95%

目標の107%には届かず。原因として、定期的に利用している方の入所（他施設含む）が多く新規利用者の獲得に難航したことと、感染症が流行り空きベッド運用がうまくいかなかったことだと考える。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	601	610	596	618	678	611	576	571	599	583	626	647
稼働率%	100.17	98.39	99.33	99.68	109.35	101.83	92.90	95.17	96.61	94.03	107.93	104.35

3. 安心・安全で快適な環境および場所の提供

自宅での生活と出来るだけ変わらない環境を施設でも提供できるように、居室でのベッドの配置などはフェイスシートを記入するようにした。

4. 地域に根差す

神出文化祭に出展・見学をした。年度後半は行事も感染症等の影響で行えておらず、地域との交流する機会の提供が満足に行えていない。

5. ケアの質の向上

個別に対応しなければいけないケースが増えてきている。その人に合った声掛けの方法や、介助の仕方、現状を介護や看護、栄養面等含めて相談する機会をもてるようになってきている。現状統一したサービス提供を行えていないので、今後も課題として意識していく必要がある。

●デイサービスセンター

今期のテーマ 利用者、家族のニーズに添ったサービスを提供する

今期計画 延利用人員 8,034人(26人×309日)

1. 介護職員の養成と介護技術の向上
2. 顧客満足度の向上
3. 稼働率70%を目指す
4. 認知症利用者のケアの向上
5. デイサービスフロアにおける環境の整備

1. 気づきの出来る介護職員の養成と介護技術の向上

- ・些細な事でも情報として共有した結果、ご利用者の状態の変化に気づけることができた。
- ・移乗介助やオムツ交換の基本を、職員で再確認し実践した。

2. 顧客満足度の向上

- ・外出行事では利用者の方にアンケートを実施して、希望先が多い場所を考慮し選定した。

3. 稼働率70%を目指す

≪実績≫年間平均稼働率 61.24%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	572	591	547	576	528	472	507	560	571	568	575	556
稼働率%	62.86	62.54	62.51	60.95	55.87	53.94	53.65	61.54	65.26	67.62	65.71	61.10

- ・当日、体調不良や私用等でキャンセルされたご利用者には振替利用を促したり、行事の参加には振替利用ではなく追加利用をすすめる事ができ、今後の稼働率アップの可能性を見出すことができた。まだまだ目標値には至らないが、イベントのバリエーションを増やし楽しんで利用いただけるものを提供していく。

4. 認知症利用者のケアの向上

- ・認知症の周辺症状を理解し、個々に合ったケアをおこなうことで、受け入れの幅が広がった。

5. デイサービスフロアにおける環境の整備

- ・備品と保存書類等の整理整頓ができておらず、備品は使い分けがし易いよう整理し、書類等については年度毎にまとめ直しをおこなった。

体験ご利用者の中には、現介護技術では対応が難しい事例もあり新規獲得には至らなかった事も度々あった。今後も介護技術向上を続け、ベテラン職員からの指導、外部研修へ積極的に参加するよう努める。又、職員の介護技術・知識の統一化を目指しながら、画一的なサービス内容ではなく個別あるいは小グループでおこなえるプログラムを発案し、ご利用者のニーズに沿えるサービスを提供していく。

●ケアプランセンター

今期のテーマ 地域包括ケアにおけるケアマネジャーの役割を担う

- 今期計画
1. 地域包括ケアを推進する一員としての役割を担うケアマネジャーになる
 2. 介護支援専門員の質を向上する

1. 地域包括ケアを推進する一員としての役割を担うケアマネジャーになる

本人や家族の意思を尊重し、自立支援を念頭に地域で生活を送ることを支えるため、地域の医療や介護の各関係機関と連携を図ってきました。ケアプランセンター内で定期的に会議を開催し、情報共有を行い、地域における課題についても把握してきました。地域ケア会議やあんしんすこやか連絡会にて、地域の課題についても発言し、地域包括ケアの一員としての役割を担っています。

2. 介護支援専門員の質を向上する

各種の外部研修会に参加し学ぶことで、各々がケアマネジメントに必要な知識や技術を習得しています。また他法人やあんしんすこやかセンター、医療介護サポートセンターの開催する事例検討会へも参加して他の介護支援専門員のケアマネジメント技術を学んだり、社会資源の活用などの情報を得る機会を持っており、事業所全体のスキルアップを向上しています。